

作成年月日	令和5年3月22日
作成部課室名	総務部 職員局人事課 財務部 県政改革課

令和5年度 組織改正・人事異動の概要

～躍動する兵庫、新時代への挑戦～



01 政策課題に対応した組織体制 ①

1

「躍動する兵庫」の実現に向けて

新知事就任に伴い、特に重要かつ早急に取り組むべき県政方針の策定・プロジェクトの推進のため、『新県政推進室』が中心となり、各部横断の懸案に対応してきた。

12部制のもと、各部長による政策形成や部局間の連携が定着してきたため、『新県政推進室』を廃止し、知事が示す大きな方向性のもと、各部長が主体的に横連携を図りながらボトムアップ型県政を推進していく。

12部連携のもと 「躍動する兵庫」を前に進め、未来を切り拓く



12部長等のマネジメントの実施

- 知事が示す大きな方向性のもと、部局間で **横連携を図った** 部長マネジメントの推進
- 現場の声を迅速かつ的確に施策につなげるボトムアップ型の県政の実行

職員によるイノベーションの実践

- 職員一人ひとりが、失敗をおそれず自律的に創意工夫や変革に挑戦
- アンテナ高く社会潮流を捉えつつ、生きた地域課題を吸い上げ、積極的に施策立案

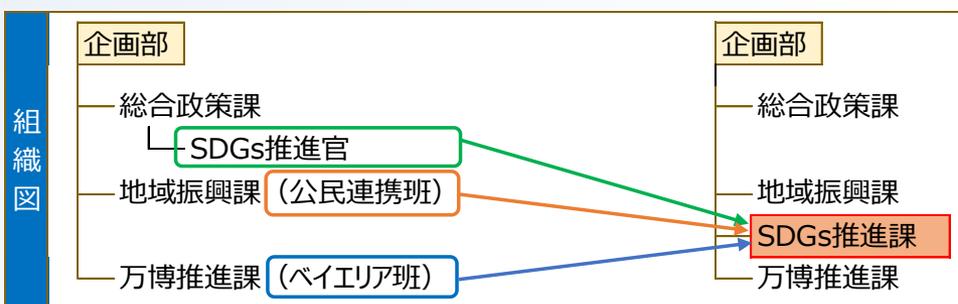


02 政策課題に対応した組織体制 ②

2

公民連携によるSDGsの取組推進

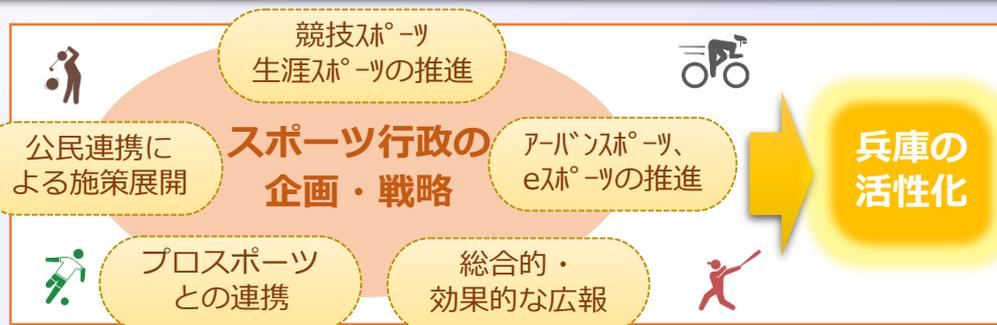
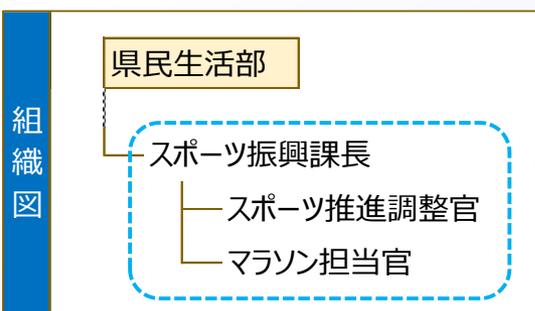
公民が連携しながら、オール兵庫でSDGsの取組を推進するため、企画部に『SDGs推進課』を設置。多様なステークホルダーと連携・協働のうえ「知る」・「取り組む」・「つながる」の3段階で事業を展開し、SDGs先進県としての地位を目指す。



3

スポーツ行政の強化

公民連携による新スポーツ（アーバンスポーツ、eスポーツ等）の展開をはじめ、スポーツの持つ多面的な価値を、県の活性化に最大限活用するため、知事部局に『スポーツ振興課』を新たに設置。地域やプロスポーツ、企業との連携を強化しつつ、観光、福祉分野等との連携についても有識者会議で検討するなど総合的なスポーツ行政を展開。





03 政策課題に対応した組織体制 ③

4

県民ボトムアップ型県政のさらなる推進

県民とともに「躍動する兵庫」を創り出すため、県民生活課を『**県民躍動課**』に改編し、地域団体、NPO、民間企業など多様な主体と連携して地域課題解決に向けた取組を推進。

5

2025年大阪・関西万博に向けた取組の強化

公民が連携し、万博の持つ効果や活力を兵庫に導くため、万博推進室を『**万博推進局**』に改編するとともに万博推進課に『**フィールドパビリオン推進官**』を設置。

6

地域の安全安心を支える体制の強化

広域強盗事件など凶悪化する犯罪等に対して、地域における防犯力を高めるため、生活安全課を『**暮らし安全課**』に改編し、犯罪の未然防止に向けた体制を構築。

7

メディアを活用した戦略的な広報の推進

戦略的なプロモーションを行うため、広報広聴課に『**メディア推進官**』を設置し、メディアに向けたパブリシティ強化に取り組み、県政の効果的な発信を実施。

8

ファンドレイジング*への挑戦

寄附獲得に向けたファンドレイジングに取り組むため、財政課に『**財政企画官**』を設置。「寄附を通じて地域社会に貢献したい」という寄附者の想いと課題解決を図るプロジェクトを結びつける。

※ 専門の担当者を置いて寄附などによる資金調達を行うこと3



04 幹部人事 ①

1 監査委員



おばた ゆきお
小畑 由起夫(60)

- ▶ 経 歴：但馬県民局長 (R2.4～)、議会事務局長 (R3.4～)
- ▶ 現 職：会計管理者 (R4.4～)
- ▶ 任 期：4年

2 公営企業管理者



かじもと なおこ
梶本 修子(59)

- ▶ 経 歴：阪神北県民局副局長 (H30.4～)、観光局長 (R2.4～)
- ▶ 現 職：企画部長 (R4.4～) **女性初**

3 会計管理者



しろ ゆみこ
城 友美子(59)

- ▶ 経 歴：観光監 (H30.4～)、神戸県民センター長 (R2.4～)
- ▶ 現 職：県民生活部長 (R3.4～) **女性初**



05 幹部人事 ②

本庁12部長

今年度スタートさせた12部制を安定的に運営するとともに、組織の活性化を図るため、積極的に若手部長を登用するなどバランスのとれた適材適所の幹部人事を実施。

区分	氏名 ※年齢はR5.4.1時点	備考
防災監兼危機管理部長	遠藤 英二 (59)	—
総務部長	小橋 浩一 (58)	—
企画部長	新 守本 豊 (53)	現：企画部総合企画局長
財務部長	稲木 宏光 (40)	—
県民生活部長	新 井ノ本 知明 (55)	現：総務部次長兼秘書広報室長
福祉部長	生安 衛 (59)	—
保健医療部長	山下 輝夫 (59)	—
産業労働部長	新 原田 剛治 (54)	現：総務部職員局長兼元町庁舎2階外室長
農林水産部長	萬谷 信弘 (59)	—
環境部長	菅 範昭 (58)	—
土木部長	杉浦 正彦 (59)	—
まちづくり部長	新 柴田 和弘 (59)	現：まちづくり部次長



06 幹部人事 ③

県民局長・県民センター長

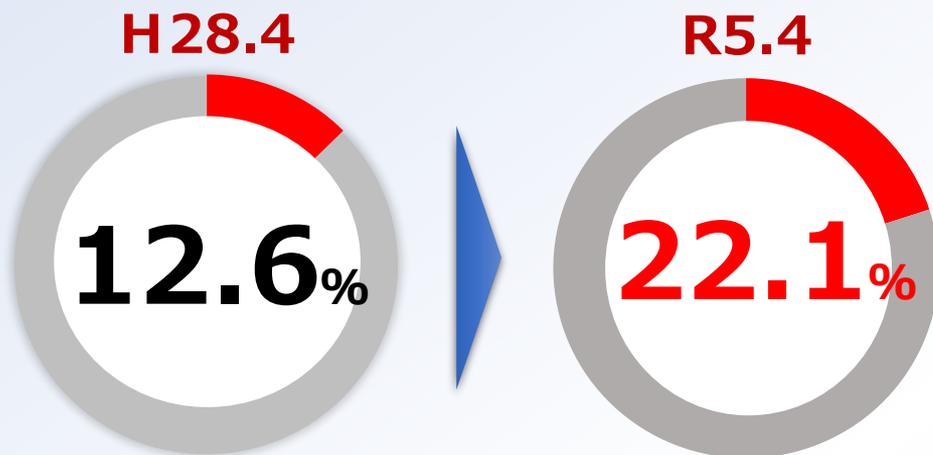
県民局制をスタート（H13～）して以来初めて、女性職員を2名（現行1名）、技術職職員を3名（現行1名）登用するなど複雑化する地域課題解決に向けて、組織の多様化を図る。

区分	氏名 ※年齢はR5.4.1時点		備考
神戸	大久保 和代 (59)	事務	—
阪神南	新 木村 晶子 (57)	事務	現：県民生活部次長
阪神北	新 宮口 美範 (57)	事務	現：産業労働部次長
東播磨	新 野北 浩三 (57)	事務	現：企画部次長
北播磨	新 守本 真一 (56)	農学	現：農林水産部次長
中播磨	法田 尚己 (57)	事務	—
西播磨	渡瀬 康英 (59)	事務	—
但馬	新 多田 欣也 (58)	土木	現：企業庁次長
丹波	新 上田 浩嗣 (58)	土木	現：土木部次長
淡路	藤原 祥隆 (59)	事務	—



07 女性活躍の推進

▶ 女性役付職員比率の推移



■「ひょうごアクション8 (H28.3改定)」の推進状況

相当職	H28.4	R5.4	R7.4 目標
本庁部局長	7.4	14.0	10.0
本庁課長	8.9	18.3	20.0
本庁副課長	9.4	18.3	20.0
本庁班長	16.9	27.3	30.0
合計	12.6	22.1	-

▶ 幹部職員への登用

特別職	・ 公営企業管理者	: 梶本 修子 (新)	女性初
本庁部長、 県民局・県民センター長	・ 会計管理者	: 城 友美子 (新)	女性初
	・ 神戸県民センター長	: 大久保 和代	
	・ 阪神南県民センター長	: 木村 晶子 (新)	
本庁12部次長	・ 企画部次長	: 山北 貴子 (新)	
	・ 県民生活部次長	: 中井 佳奈子 (新)	
	・ 県民生活部次長	: 小倉 陽子 (新)	
	・ 産業労働部次長	: 白川 智子 (新)	
	・ 環境部次長	: 上西 琴子	



08 新たな人材マネジメント

▶ 職員の挑戦と成長を促す人事

庁内公募による登用

- ▶ 令和4年度から、職員が自らの能力や経験をPRし、挑戦したい所属や業務に応募する制度を創設
- ▶ 意欲ある職員を積極的に登用し、職員による主体的なキャリア形成の実現を図る

▶ 民間企業等とのネットワーク形成の促進

民間人材の積極的な活用

- ▶ 民間等における高度な専門知識やノウハウが活かせる分野において民間人材を積極的に活用
- ▶ 民間企業等との人事交流を積極的に推進し、得られた知見・ノウハウを組織に還元

【人事交流企業】

P&G、JR西日本、みなと銀行、大阪ガス
NEXCO西日本、阪神高速道路、早駒運輸、
NTT西日本、コープこうべ、ヴィッセル神戸 等

1 県民生活部 スポーツ振興課長

- ・ 知事部局で新展開するスポーツ行政の総合推進

2 海外事務所長（シンガポール、パリ、ワシントン）

- ・ 若手監督職を抜擢し、海外での知見を県政に還元

3 事業課 副課長・班長級

- ・ 新規プロジェクトの推進、直面する行政課題への対応

1 高度な知識・経験を持つ人材の登用

- ➔ 副防災監（防衛省より）

2 企業版ふるさと納税（人材派遣型）

- ➔ 万博推進課 プロモーション専門官
SDGs推進課 プロジェクト推進専門官

3 ジョブ型雇用

- ➔ デジタル推進専門官、情報セキュリティ専門官

4 複業人材

- ➔ ユニバーサルツーリズム推進アドバイザー（ほか7職種）